



福島県立梁川高等学校
令和元年5月20日
校長だより
知性 誠実 責任
第10号

■ 進路ガイダンスがありました

5月17日（金）に第3学年「進路ガイダンス」を行いました。ガイダンスとは、ある辞書によると、「不慣れで事情のわからない者に対して、初歩的な説明をすること。案内。手引き。また、そのための催し」とあります。また、「児童・生徒・学生が、自分の適性を知り、進路を決定できるように指導すること」とあります。

保護者や教員は、すでに経験しており、ある程度知識も持ち合わせていますが、高校3年生はこれから全く経験していないことに立ち向かうわけです。辞書にあるように「不慣れで事情のわからない者」にあたります。だからこそ、「ガイダンス」が必要なわけです。

当日は、お忙しい中、たくさんの保護者の方にご参加いただきました。まず、校長より以下の話をしました。

火曜日からは1学期の中間考査が始まります。そして、中間考査が終わると、3年生の皆さんにとっては、本気で本格的に進路目標を絞り込む時期となります。

今日の進路ガイダンスのねらいは4つあります。

- ① 生徒の皆さんのよりよい進路選択に役立ててもらうこと
- ② 進路に関して保護者の皆さんに積極的に関わっていただくこと
- ③ 保護者の皆さんと生徒が共通理解を図るきっかけとすること
- ④ 家庭と学校がさらに連携を図ること

保護者の皆様には、ガイダンスのねらいをご理解いただき、お話を聞いていただければと思います。また、生徒の皆さんには、今日のガイダンスで得られた情報を活用して、よりよい進路選択に生かしてほしいと思います。

学年主任の話、進路指導主事からの説明の後、「就職コース」と「進学コース」に分かれました。

【就職コース】



保原に工場があるTBソーテック東北株式会社の方からの説明がありました。会社の事業内容などを聞くことで、働くということへの意識やイメージができたのではないかと思います。



株式会社ヨークベニマル人事室の方からの説明がありました。一般的には知られていない従業員の苦勞、陰の努力についてもお話があり、社会人になる心がまえにつながったことと思います。

【進学コース】

大学や専門学校ごとのブースが設けられ、生徒と保護者の皆さんは熱心に話を聞いていました。また、全体会の中では、進路指導主事より進学についての説明がありました。

◇ 進学には大きく分けて次の3つがあります。

- 4年制大学（4年間）
- 短期大学（2～3年間）
- 専門学校（1～3年間）

◇ 受験方法には次のようなものがあります。

- 一般入試 学科試験、小論文、面接など（1月頃～）
- 公募推薦入試 小論文、面接など（10月頃～、出願資格あり）
- 指定校推薦入試 小論文、面接など（10月頃～、出願資格あり）
- AO入試 小論文、面接など（出願資格あり）

※ AOとは admissions office のこと。AO入試（アドミッション・オフィス入試）とは大学の入試方法の一つ。大学の入学管理局（admissions office）による選考基準に基づいて、学力試験を課さず、高等学校における成績や小論文、面接などで人物を評価し、入学の可否を判断する選抜制度。

就職にせよ進学にせよ、7月から動き出さなければなりません。あと1ヶ月あまりです。3年生にとって進路は、身近で切実なものです。自分はどうしたいのか、どんな人生を歩みたいのか、どんな大人になりたいのか、どんな社会人になりたいのか、どんな生き方をしたいのか、たくさん考え、考えたことを整理し、行動計画を立て、動き出してください。

梁川高校は、3年生の皆さんの希望進路100%達成を目指しています。そのために必要な基礎的な能力の向上を図るような教育活動を展開しています。そして、地域を支え社会に貢献できる人材を育成したいと考えています。

■ 東京都立多摩高等学校

5月16日（木）に東京都立多摩高等学校の菅勇真校長先生が本校を視察に訪れました。多摩高校は4年後に創立百周年を控えているそうです。授業の様子を参観していただき、本校が行っている取り組みについて説明しました。多摩高校の取り組みについてもお聞きすることができ、今後の学校運営を考える上で有意義な時間となりました。